

2025 年 10 月 1 日

令和 7 年度 10 月博士前期・後期課程入学式告辞

九州工業大学長 三谷康範

本日、九州工業大学大学院にご入学された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんのたゆまぬ努力と情熱が実を結び、今日という晴れの日を迎えられたことに、心から敬意を表します。私たちは、皆さんを本学にお迎えできることを、心より嬉しく思っております。

本日入学される皆さんのうち、79 名、すなわち約 90%が 23 の国や地域からの留学生で構成されています。このように多様な文化的背景をもつ皆さんが一堂に会し、共に学び合うことは、学術の場において大きな価値を生み出すものです。異なる視点が交わるところに、革新と創造、すなわちイノベーションの芽が育まれるのです。

世界を見渡すと、今なお分断や紛争が続き、人と人や国と国との間に壁が築かれています。このような困難な国際情勢の中で、皆さんが国境を越えて本学を選び、学びの場として門戸を叩かれたことは、まさに希望の象徴です。皆さんの存在が、将来における国際的理解と協調の架け橋となることを、私は確信しております。

本日の告辞は日本語で行いますが、必要な方のために、機械翻訳による多言語版も事前に配布しております。ご存じのとおり、近年の生成 AI 技術の発展により、言語翻訳をはじめとする情報処理の効率と精度は格段に向上しています。こうした技術の恩恵により、異なる言語を母語とする皆さんとも、こうして場を共有できることを大変嬉しく思います。

生成 AI は、今後の皆さんの研究や社会活動において極めて強力なツールとなるでしょう。複雑なデータの解析、設計支援、シミュレーション、さらには創造的発想の補助に至るまで、応用の可能性は広がっています。しかし、その力を正しく引き出すためには、AI の仕組みや限界を深く理解し、自らの倫理的判断をもって適切に活用することが求められます。技術に頼るのではなく、技術を使いこなす主体としての姿勢を、ぜひ大切にしてください。

大学院での学びは、知識を習得することにとどまりません。多様な文化に触れ、

異なる考えに耳を傾け、自らの視野を広げていくことも大きな学びの一つです。常に課題に対して問いを立て、粘り強く考え抜く力、そして失敗を恐れず挑戦を続ける勇気こそが、これからの研究者や技術者にとって不可欠な資質です。

九州工業大学は、全国で 25 大学が選定された地域の中核となる特色ある研究大学として、「社会実装力のある技術者・研究者の育成」を理念に掲げ、研究成果を社会に還元することを重視しています。皆さんはこうした恵まれた環境において、開発する技術が、どのように人々の暮らしを支え、未来をつくっていくのか、その問いを常に心に持ちながら、研究に取り組んでください。

工学は社会の課題を解決する強力な手段ですが、技術だけでは真の解決には至りません。現場に立ち、声を聞き、他者と協働する中でこそ、技術はその力を発揮します。学内外を問わず、多くの人々と交流し、多角的な視点を持って物事に取り組む姿勢を、どうか大切にしてください。

近年の国際情勢や経済構造の急激な変化により、世界はますます予測困難な時代に突入しています。AI、半導体、再生可能エネルギーといった最先端技術をめぐるのは、技術的競争に加えて地政学的な緊張も高まり、サプライチェーンの分断やエネルギー危機など、私たちの生活にも直接的な影響を及ぼしています。だからこそ、変化に柔軟に対応し、どのような状況下でも学び続ける力を持った人材が、これまで以上に求められているのです。

これから始まる大学院での生活は、皆さんの知的好奇心を存分に満たす時間であり、同時に新たな自分を発見する旅でもあります。好奇心と探究心を持ち続け、学びの機会を自ら創り出し、どんな困難にも向き合いながら、確かな歩みを進めてください。

最後になりますが、皆さんがこの新たな環境で心身ともに健やかに過ごされ、充実した大学院生活を送られることを、そして将来にわたり世界の課題解決に貢献する存在となられることを、心から願っております。皆さんの九州工業大学での活躍を、大いに期待しております。

本日は誠におめでとうございます。